

第2回
第8期高砂市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
会議録（議事要旨）

1 開催日時 令和2年8月27日（木）10:00～12:00

2 開催場所 高砂市役所南庁舎5階大会議室

3 協議事項

- (1) 第7期事業計画の進捗状況について
- (2) 高砂市の高齢者を取り巻く現状について
- (3) 第8期事業計画の骨子（案）について
- (4) その他

4 議事

(1) 第7期事業計画の進捗状況について

【事務局より「資料1 高砂市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第7期）の進捗状況について」資料説明】

委員質問 「地域における防災マップづくり」について。自治会はいくつあるのか。マップができていないところについて分析はどうなっているか。

事務局 自治会はいくつあるのかは確認してご報告させていただく。

マップの進捗状況は、資料2から読み取れる範囲でご理解いただきたい。

委員質問 防災関係の福祉避難所について。コロナの影響のある中、施設が避難所として協力してくれるのか。今後大きな問題になるのではないか。

事務局 防災や避難所の問題は、今後感染症の問題をあわせて考えていく必要がある。

委員意見 事業計画の取り組みの項目が多いため、このままでは完成度が上がらないのではないか。高砂市も高齢化が進み、取り組みのための労力も限られている。もう少し項目を絞り、重点項目をはっきりさせた方がよいと思う。

委員長 そろそろ評価指標にして、項目に取り組んだというだけでなく、その後の変化や成果について評価する仕組みにするべきではないか。三年間で何を重点項目とするかについても検討していただきたい。

事務局 現状は、国の方針に基づいて、102ほどの施策になっている。皆さんのご意見を聞きながら整理していきたい。

委員意見 今の資料だけでは高砂市の認知症の現状が分からないので、具体的な数値が知りたい。

事務局 資料3の方で、把握できている範囲でお伝えしたい。

(2) 高砂市の高齢者を取り巻く現状について

【事務局より「資料3 高砂市の高齢者を取り巻く現状」について資料説明】

- 委員意見 認知症のデータの中に若年性認知症の方が入っていない。当事者はなかなか認知症と気づかず、就労支援などのサービスにつながりにくい。若年性認知症も当事者や家族の大変な現状がある。初期の段階で、対応につながる事が大切。
- 委員長 介護保険事業計画になると、65 歳以上がメインになってしまう。福祉関連の窓口は、設置することも重要だが、それだけでは十分でない。当事者たちが敷居の高さを感じることもあるので、必要な人に制度が届くように考えていかなければならない。
- 委員意見 基幹相談支援センターの窓口を北浜に置くという話があるが、そこで本当に機能するのか。当事者には窓口に来た後の対応も必要になる。総合相談窓口という国からの話もあるそうなので、議論してほしい。若年性認知症の方は精神科に入院して実態が見えなくなる事もあるので、そういう当事者を拾い出さなければならない。
- 委員質問 資料中の (4) の表「要介護認定者に占める認知症高齢者割合」の数値は、ランクⅡa 以上の人を集計した比率ということだが、ランクⅠを省く理由があるのか。
- 事務局 ランクⅠを省いた参考の数値をお伝えしたが、この表自体は、ランクⅠも含めた数値になっている。
- 委員意見 比較的軽いと思われがちだが、「要支援1」の人の介護が大変。家族や本人の戸惑いが大きい。実感としては、治療に結びつかない初期の認知症が市中に増えていて、そのためのトラブルで困っている事例がある。
- 委員意見 (2) 地域密着型サービスの「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」など、「地域密着型」の実績値が低い。来期、地域密着型が経営的に厳しいという事であれば、施設サービスの方を作るなどの考えがあるか。
- 事務局 地域密着型で特別養護老人ホームの公募をしたが、応募がなかった。人材の不足や経営の問題などでなかなか難しい。第8期に向けて他の方法もある。どうするかは今検討している。
- 委員意見 地域密着型は経営的に難しいと聞いている。特に市の境界に立地しているところは難しい。また、人材確保は質の確保も必要となり、本当に難しい。高砂市からの人材確保への支援があれば、もっと考える施設があるのではないか。
- 事務局 高砂市は市域が狭く、地域密着型が難しい。今後、県や近隣市とも相談して考えなければならない。

(3) 第8期事業計画の骨子(案)について

【事務局より 「資料4 第8期事業計画の骨子案について」資料説明】

委員意見 ケアアシスタントとしての雇用でうまくいっている事例がある。実際の介

護ではなく周辺業務を行ってもらおう雇用だが、施設の現場も助かっている。ケアアシスタントとしての雇用は、特養では有効ではないか。

事務局 参考にさせていただきたい。

委員意見 今年はコロナウイルス感染症の流行でいろいろな行事ができず、混乱が大きかった。骨子案に新たに感染症対策についての内容が加わったが、今後もコロナウイルス感染症の影響が続くことも考えられる。その場合の補助的な案を持っておくことで、今年よりはよい対応ができるのではないか。

事務局 市全体の災害対策ともかかわるので、いろいろ協議しながら進めていきたい。

委員長 地域活動は一度中止にすると再開が困難になる。感染しないための対策も必要だが、今後は感染者が出た場合に広げない対策にシフトする事が現実的ではないか。行事の再開や避難所対策など、協議して進めなければならない。

委員質問 第4章「5. 計画の推進体制」に「文書負担の軽減」という話が出てきた。現場レベルで何をするのか、現場へのリサーチや現場との連携はできているのか。現場と連携する場を設けてほしい。

委員長 国から方針が出てきているが、市としては、まだ現場の事業所などと話ができるかが見えない状況になっている。

委員意見 せっかく取り組んでいる事項なので、現場との意見交換があれば、乖離なく進められるのではないか。他市では、保険者などで現場の裁量で改良している部分があるように思う。

事務局 保険者の対応できるところがあれば対応させていただきたい。

委員意見 前回社協の「移送支援」の話をしたが、骨子案には出てきていない。「交通部門との連携」とあるが、何らかの形で支援をしていくのであれば、「移動支援の強化」などの項目が必要ではないか。

事務局 移送・移動支援については、今期の計画で触れる必要があると考えている。今後素案の中でご相談させていただきたい。

委員長 今後素案になってくると大変な量になると思う。重点項目を置くかどうかは重要。骨子案としてはこの形で了承していただきたい。足りないところがあれば、素案で追加・修正していく。

【委員 異議なし】

(4) その他

【事務局より 会議録の公表、次回以降の会議日程等についての説明】

事務局 第一回の議事の要旨をお配りしている。要旨はホームページに公表予定なので、内容について何かあれば市役所高年介護課にご連絡いただきたい。